

プラズマ・核融合学会誌

第87巻第4号

2011年4月

解 説	核融合ブランケット研究におけるベリリウム化合物の取り扱い 柴山環樹, 中道 勝, 宮本光貴, 久我典義, DORN Christopher K. and KNUDSON Theodore L.	259
講 座	パルスパワー技術入門 5. パルスパワー技術の応用 勝木 淳, 高木浩一, 浪平隆男 6. おわりに 勝木 淳	268 276
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト.....		277
インフォメーション	 JT-60共同研究優秀賞の選考結果について 幅広いアプローチ活動だより(29) 【会議報告】第23回 IAEA Fusion Energy Conference／公開シンポジウム「超大型レーザーによる高エネルギー密度科学の展開」 【人事公募】	279
Plasma & Fusion Calendar.....		290
本 会 記 事	 専門委員会応募に対する採択の結果／広報委員会だより：第3回おもしろ科学教室での広報活動／プラズマ原子分子過程ハンドブック	291

表紙の絵

固体-気体-液体の間の界面に関わるプラズマで拓き創るナノバイオ融合科学の概念説明。先進的気体、液体及び気液界面プラズマプロセスを用いることによって、バイオ・医療応用に向けて、原子内包 C₆₀-カーボンナノチューブ-ナノ粒子-生体高分子の間の物質融合を推進し、新規ナノカーボン・バイオ会合物質を創製する。これを基盤とするプラズマナノバイオデバイス・細胞内ナノエンジニアリング・ナノメディシンから成る“プラズマナノバイオエレクトロニクスシステム”の構築へ挑戦する。(Rikizo HATAKEYAMA and Toshiro KANEKO, Plasma and Fusion Research Vol. 6, 1106011 (2011) <http://www.jspf.or.jp/PFR/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 3F Tel：03-3475-5618 E-mail:info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。